

胃潰瘍・十二指腸潰瘍

このような症状はありませんか？

- ・食後・空腹時上腹部痛、心窩部痛
- ・胸焼け、吐き気、嘔吐
- ・上腹部不快感、もたれ
- ・黒い便

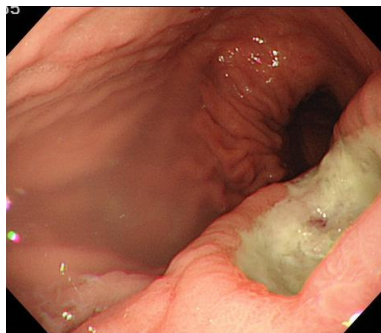
胃潰瘍・十二指腸潰瘍かもしれません！！

胃潰瘍・十二指腸潰瘍とは

- ・酸やペプシンにより胃の壁が傷つけられて欠損を生じた状態
- ・十二指腸にも同じような潰瘍ができる
- ・胃潰瘍と十二指腸潰瘍は似た病態で、治療法もほぼ同じ
- ・潰瘍は深いものほど治りにくくなります
- ・深い潰瘍のなかには、胃の壁に穴があき（これを穿孔といいます）胃内容が腹腔内に漏れだして腹膜炎を起こし手術が必要になる場合もあります

胃潰瘍はどうしておきのでしょうか？

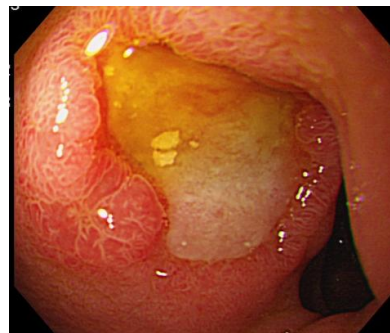
ピーナッツなどの固いもの・強い酒など口から入って粘膜を傷つけるもの、強い酸・たんぱく質を分解する酵素など胃が分泌するもの、ステロイドホルモンや鎮痛剤など胃粘膜を刺激する薬、ピロリ菌、ストレス等によると考えられています。



胃潰瘍



胃潰瘍



十二指腸潰瘍

治療の基本は

(1)心身の安静

- ・社会的・心理的ストレスから自分を開放して、休養を取ること
- ・社会的ストレスからのがれる簡単な方法は「入院」
- ・タバコは明らかに吸わない方がよいでしょう。タバコによって胃や十二指腸の粘膜の血管が収縮し、血液の流れが悪くなるため粘膜が弱くなります。

(2)生活習慣の改善

胃壁に物理的刺激を与えるようなもの（ナッツ類など固いもの、味付けの濃いもの、極端に熱い・冷たいものなど）、粘膜を荒らすもの（香辛料、コーヒー、酒・ビール、炭酸飲料など）、消化の悪いもの（タケノコ、ゴボウ、イカ、タコ、生野菜など）をさける。

(3)薬

- ・ヒスタミンH2受容体拮抗薬とプロトンポンプ阻害薬
胃酸を抑える薬で、効果が高く、安全性（副作用が少ない）の面でもすぐれています。8週間治療するとほとんどの場合（約80～90%）潰瘍が治ります。これらの薬のおかげで、最近では潰瘍のために胃を切る患者さんがほとんどいなくなってきました。
- ・最近では、ピロリ菌が潰瘍の主な原因であることが明らかになり、除菌治療に成功すると、薬を飲み続けなくても再発が劇的に減少することがわかりました。お薬代や受診料を払い続けなくてもよくなるので医療費も安上がりになります。そこで、胃潰瘍ガイドラインではピロリ菌が陽性の潰瘍患者さんには除菌治療を受けるよう勧められています。酸を抑える治療はいわば対症療法ですが、除菌治療は潰瘍の根本の原因を取り除く治療なので、より合理的で根本的な潰瘍治療といえるのです。